

【完全ガイド】Claudeをあなたの「目」にする: 画像・文書・マルチモーダル機能を使いこなす最初的一步

テキストの壁を超えて、AIと「視覚」でつながる成長ストーリー

もっとAIを活用
用したいけど、
プロンプトを打つが
打つのが大変で…

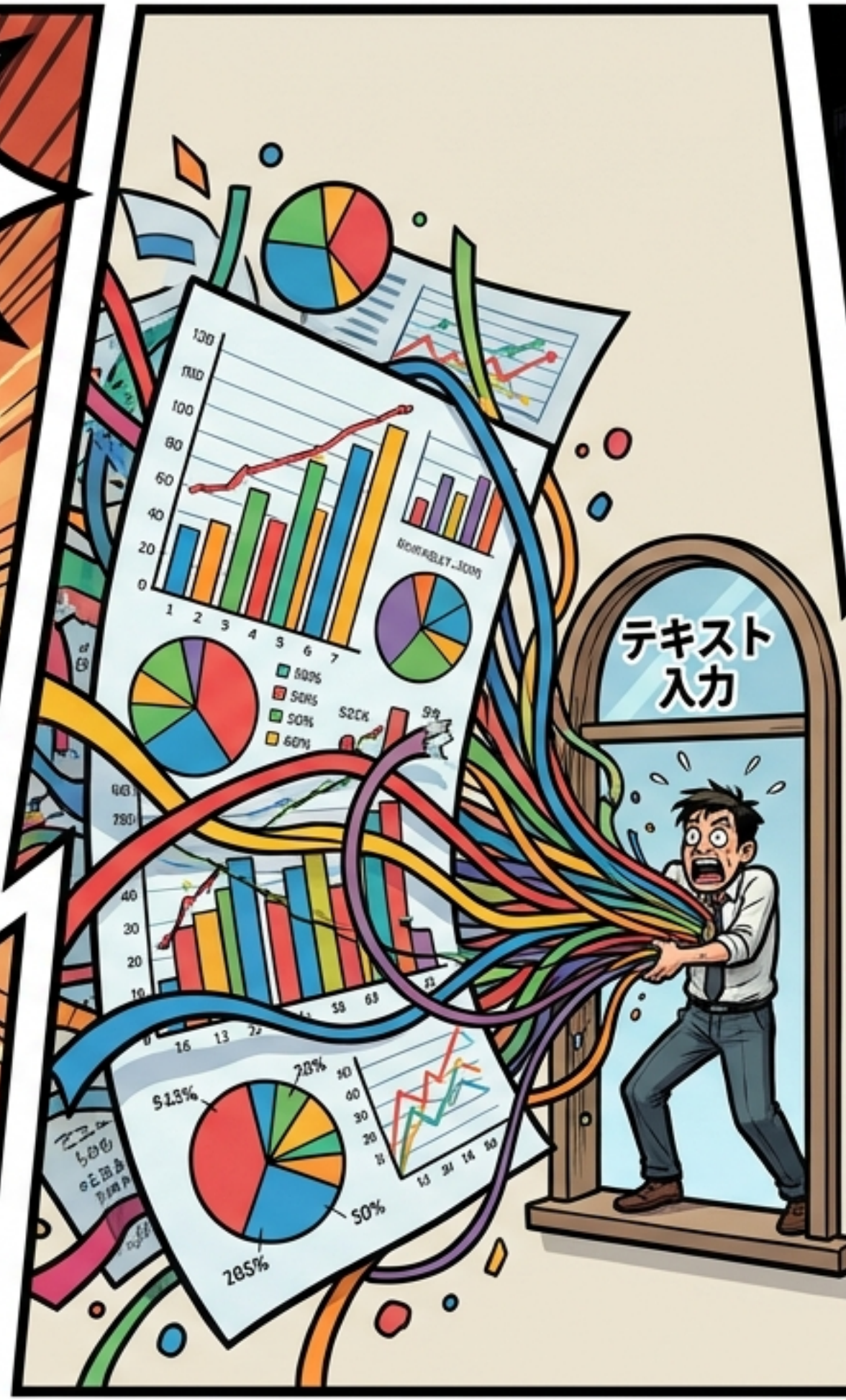
君はまだ、Claudeの
『本当の力』の半分も
使っていないようだな

ストップ。君はClaudeを
単なる『チャットボット』
だと思っていないか？



今のClaudeは、もはや単なる
チャットボットではない。
『目』を持っているんだ

今のClaudeは、もはや単なるチャットボットではない。
『目』を持っているんだ

[illegible]

マルチモーダル／画像追加

コンテキスト
(Context)

キラッ

なるほど！
画像を渡せば、
一瞬で背景情報が
伝わるのか！

テキストのみ

？

AIは『次トークン予測』...
つまり、パズルの次の
ピースを予測する達人だ。
テキストだけではヒント
が足りない

実践の前に、AIを使いこなすための『4枚の地図』を授けよう。
これを『AI流暢性 (AI Fluency)』と呼ぶ

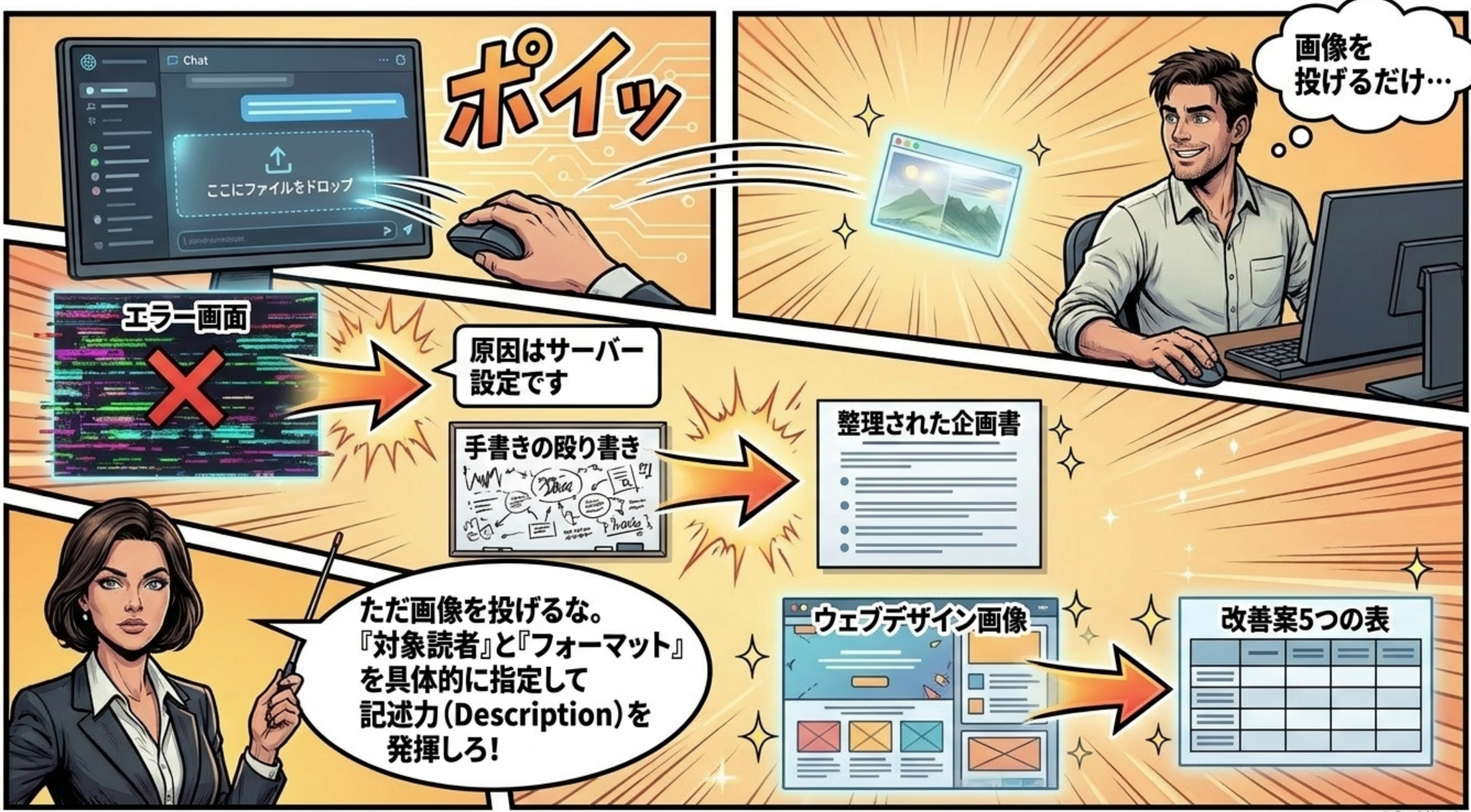
1. 委任力 (Delegation):
AIに丸投げするか、
思考のパートナーにするか
を見極める力。

2. 記述力 (Description):
画像や文書を渡す際、何をどし
て欲しいか明確に伝える力。

3. 評価力／見極め
(Discernment):
美しい成果物に騙されず、
中身の嘘 (ハルシネーション) を
見抜く力。

4. 誠実さ (Diligence):
最終成果物に対し、人間
として責任を持つ姿勢。





画像を
投げるだけ...

ポイッ

ここにファイルをドロップ

エラー画面

原因はサーバー
設定です

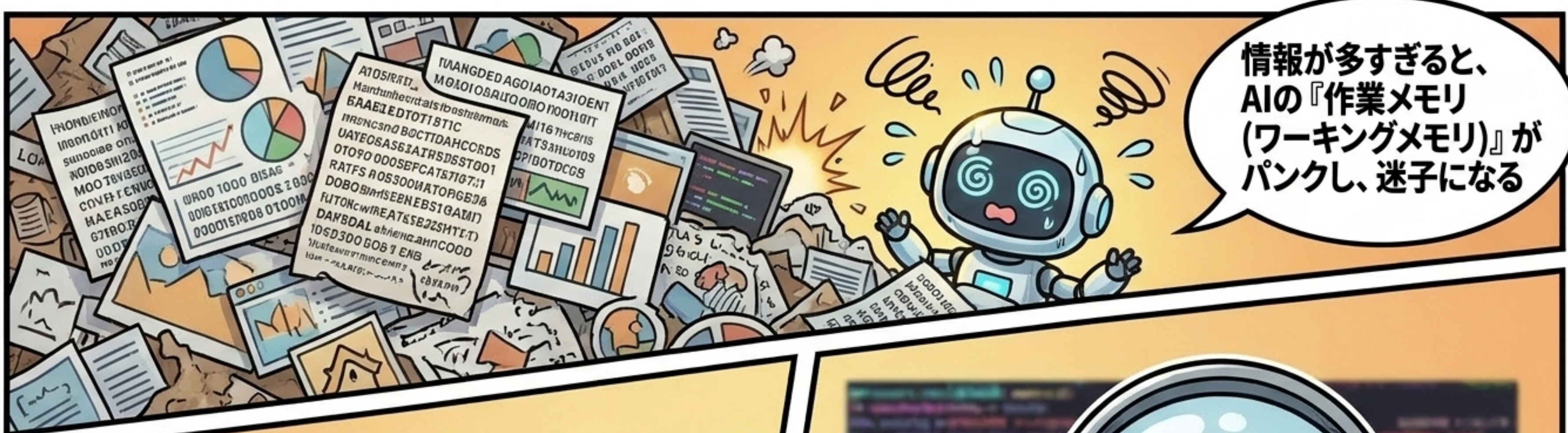
手書きの殴り書き

整理された企画書

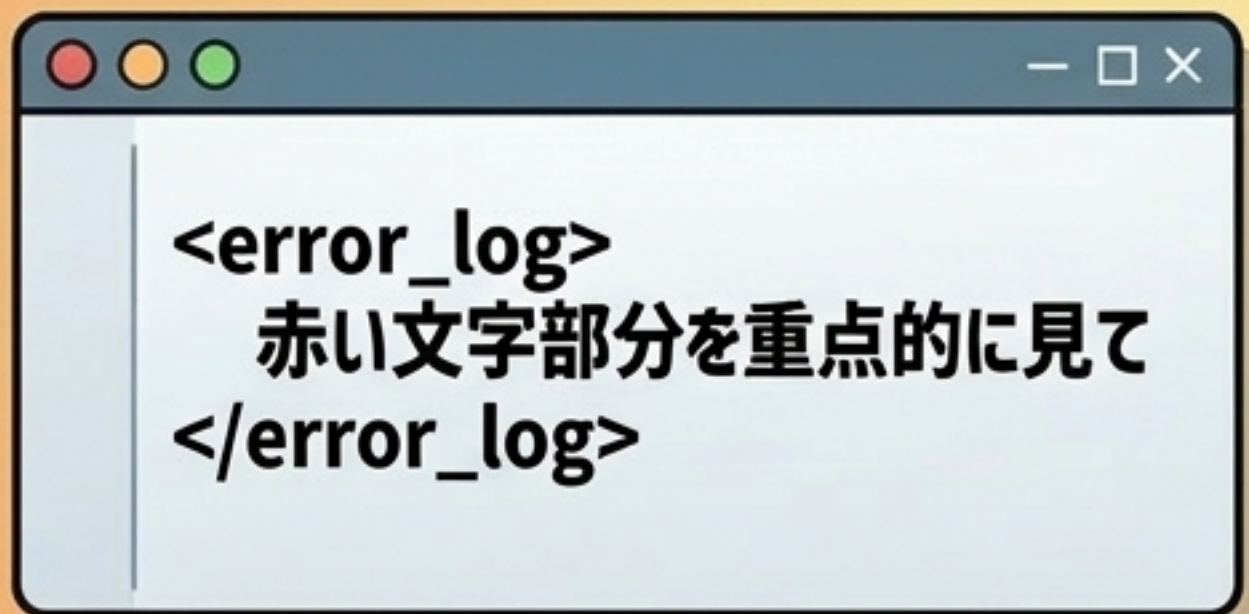
ただ画像を投げるな。
『対象読者』と『フォーマット』
を具体的に指定して
記述力(Description)を
発揮しろ!

ウェブデザイン画像

改善案5つの表

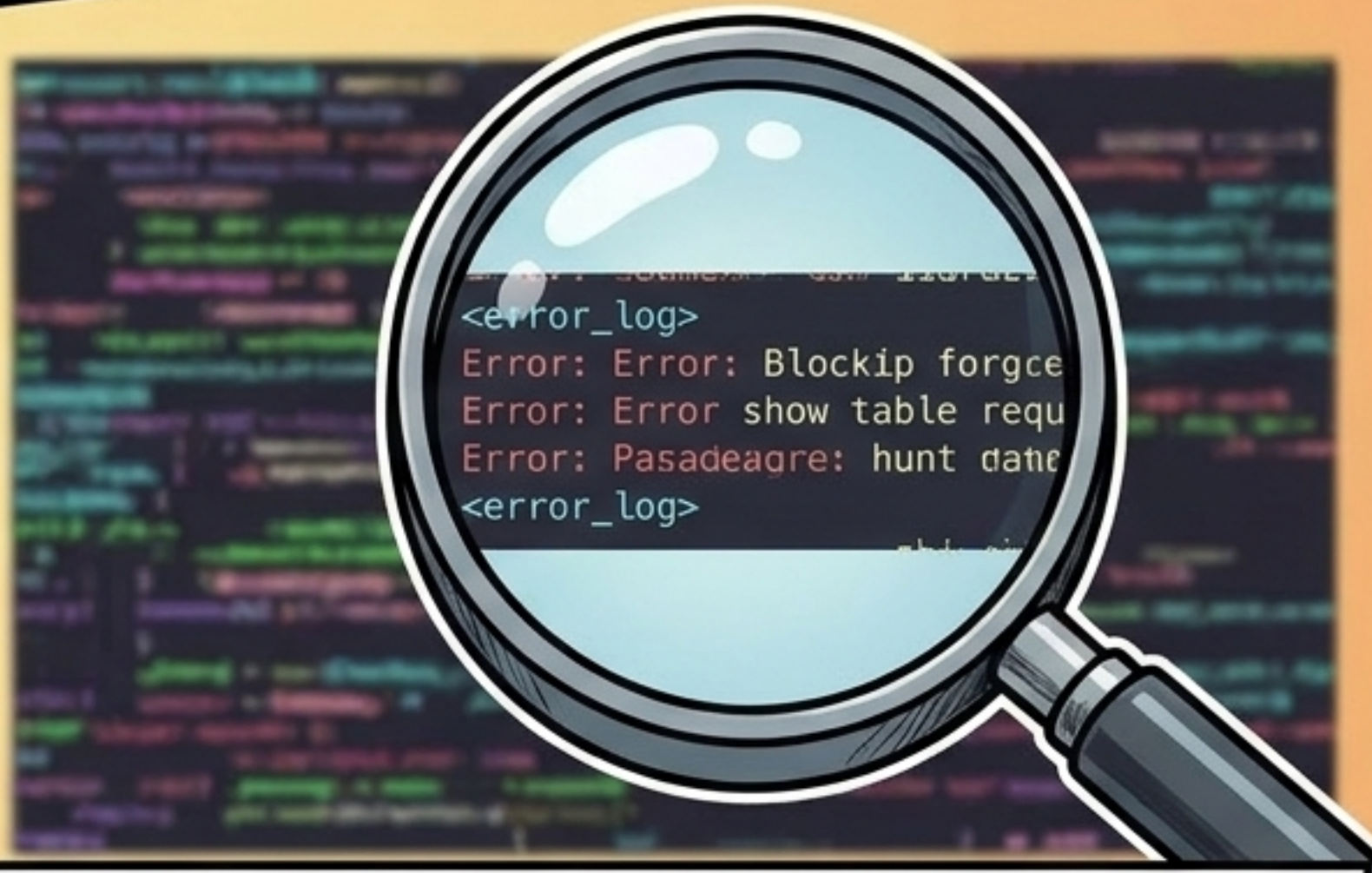


情報が多すぎると、AIの『作業メモリ (ワーキングメモリ)』がパンクし、迷子になる



`<error_log>`
赤い文字部分を重点的に見て
`</error_log>`

XMLタグ - 重点箇所を直接指示する。



```
<error_log>  
Error: Error: Blockip forge  
Error: Error show table requ  
Error: Pasadeagre: hunt date  
</error_log>
```

トリミング (切り抜き) - 見てほしい場所だけを切り取る。

【入力データ別・最適な活用シーン比較表】

	目的	強み	注意点
テキスト (Text)	簡単な質問・壁打ち	応答が最速	前提条件の説明に 時間がかかる
画像・写真 (Image)	視覚情報の共有・ 言語化困難なもの	コンテキストの瞬時 共有 (次トークン 予測の加速)	作業メモリの限界 (トリミング推奨)
ドキュメント・ PDF (Document)	大量データの比 較・要約・検索	膨大な情報を 一度に処理可能	途中で迷子になるリスク (引用指示が必須)

テキスト、画像、文書…
どれを渡すべきか。
このマトリックスを
頭に入れる

コンテキストウィンドウ: 複数ファイルの同時比較

3社の見積書の共通点と相違点、隠れたコストがないかをMarkdownの比較表にして!





重要なルールは、プロンプトの「最初」
だけでなく「最後」にもう一度書く。

1. 引用 (Citations) の要求

「回答には必ず、どの資料の何ページに
基づくか直接引用をつける」と指示し、
ハルシネーションを防ぐ。



待て。文書が長すぎると、
AIは真ん中辺りの詳細を
忘れる『途中で迷子になる』
現象が起きるぞ



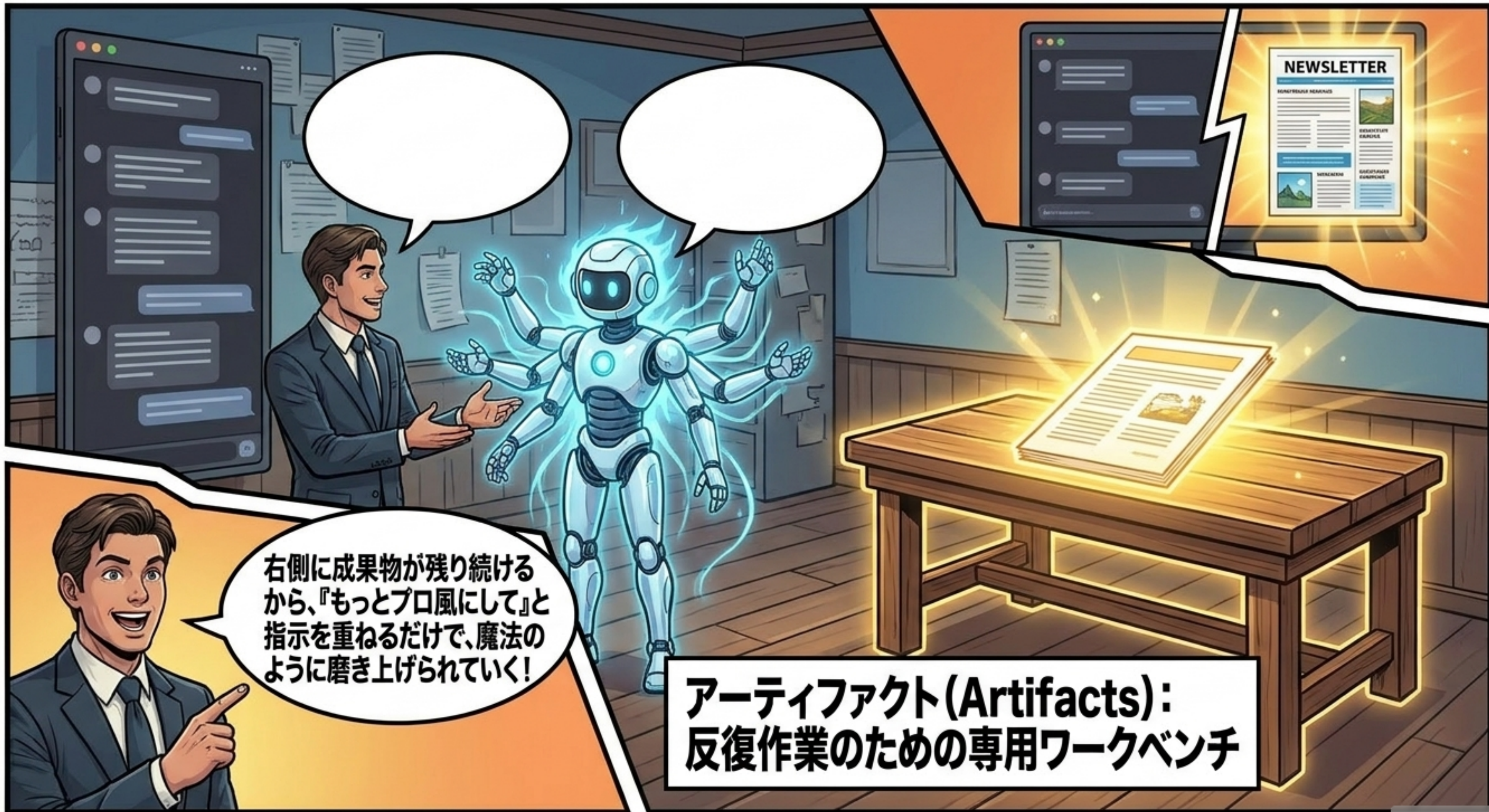
2. 再提示戦略

重要なルールは、プロンプトの「最初」
だけでなく「最後」にもう一度書く。



3. チャンク化 (分割)

100ページあるなら「まずは
1～3章から」と分けて進める。



右側に成果物が残り続けるから、『もっとプロ風にして』と指示を重ねるだけで、魔法のように磨き上げられていく！

**アーティファクト (Artifacts):
反復作業のための専用ワークベンチ**



一回きりの作業なら
アーティファクト。
だが、継続的な仕事なら
『プロジェクト
(Projects)』を使い



さらに上級者には、PC内の
特定フォルダを直接読み書
きさせる『Cowork』モード
(デスクトップ版)もあるぞ

**プロジェクト:ステアラビリティ(操作可能性)を
高める情報の基地。一度設定すれば、AIは
自社のパターンに完璧に**従う

アーティファクトの危険性: 盲信と解決策

The “Artifact Effect” and the Collaboration Preamble

それが最大の罠、
『アーティファクト効果』だ!
見た目が立派な出力ほど、
盲信してしまう

完璧だ…見た目が
こんなに綺麗なんだから、
中身も間違いはないはず…!

『コラボレーションの前文』を
プロンプトの最初に置け。『私
の考えを批判的にレビューし、
不確実な点は分からないと言っ
てくれ』と。これが『誠実さ』だ

見極めのレンズ

AIとの協働ループ (The AI Collaboration Loop)

Step 4: Output
(最終アウトプット)
+
【誠実さ Diligence】
(自分の名前で責任を持つ)



すべての機能は、人間の「主体性」の下で初めて真価を発揮する。



さあ、理屈はここまでだ。
今日から始める
『最小ステップ』の
宿題を出す!

【今日からできる小さな宿題】

1. ネットの面白い記事や、仕事の複雑な表の「スクリーンショット」を撮る。
2. Claudeにドラッグ&ドロップし、こう話しかける：
「これについて、今の私に役立つポイントを3つだけ、3行で教えてください。」



あなたの可能性が、マルチモーダルな力で大きく広がっていくことを応援しています!